

# 学校だより青南

## 9月号

令和4年9月1日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



おもいに支えられて

校長 野口 直樹

今年は、3年ぶりに、行動制限のない夏休みでした。日本各地で、コロナ禍前に実施されていた行事が実施されました。本校でも、箱根への夏季学園が3年ぶりに実施されました。また、イングリッシュキャンプや港区赤坂支所主催の郡上市交流も実施することができました。参加をした子どもたちは、郡上市や沖縄で貴重な体験活動を行うことができました。

これらの行事を実施するにあたり、多くの人の熱いおもいがそこにはあったと私は感じております。それは、子どもたちに、体験をさせたい、楽しい思い出をつくらせたい、行事自体を未来に継承をしていきたいとの強いおもいです。

夏季学園の実施時期は、感染者数が大きく増加している時期でした。子どもたちが、安全に楽しく過ごすことができるように、担任や付き添いで参加してくれた先生・宿舎の皆さん、バスガイドさんまで、子どもたちの健康や安全に心を砕いてくださいました。また、当日まで子どもたちの健康管理をしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

私が、団長として参加させていただいた郡上市交流事業実施時期も、感染者数はまだ増加しているときでした。運営を担った赤坂支所の職員の皆さんは、年度当初より安全に楽しく実施するために各所と調整、調査を行って来ていました。また、私も同行した現地踏査では、地元の市職員・教育委員会・民泊に協力してくださる皆さんの今年こそ青山の子どもたちを迎え入れたいとおもいも強く感じました。

実際に行われた郡上市の交流事業では、下駄づくり、民泊、ラフティング、郡上踊り講習会、全て無事に実施することができました。役員で参加してくださった、青山地区委員の勝山さん・赤坂地区委員の福山さん、青山小・赤坂小・青南小の岡田先生・鶴川先生・渡邊先生、赤坂支所の職員の皆さんは、民泊している子どもたちに何かあったときには、すぐに動けるよう夜遅くまで、宿舎で待機していてくれました。

私がかかわったこれらの行事は、このコロナ禍であっても行事を絶対に成功させたい、子どもたちに楽しい思い出をつくらせたい、という子どもたちにかかわる大人のおもいにあふれていました。

これら行事が行えるようになってきたのは、大人たちのおもいがあったからだけではありません。この3年間、突然の変更・中止・行動制限に対してひたむきに頑張ってきた子どもたちの姿があることを忘れてはいけません。いみじくも、この夏の甲子園大会で優勝した仙台育英高校の須江監督がインタビューの中で言っています。(その話は、記者から高校3年生にかけた言葉はと問われ「青春って、すごく密なので。」と話し話題になりました。) その中で、この監督さんは、この3年間、日本中の子どもたちが、制限される中で懸命に、できることを諦めずにやってきた努力があり、甲子園が実施できた、そして、たまたま、自分たちが優勝できた。日本中の高校生が頑張ってきたからだ、ということを言っています。このことは、青南小学校の子どもたちにも当てはまることだと思います。

感染症との付き合いは、もう暫らく続きそうです。「学校が新学期を迎え感染者数が多くなるのでは」といった報道もされています。学校では、引き続き安全に子どもたちが過ごせるよう力を尽くしてまいります。ご家庭でもお子様の体調管理に関してご協力くださいますようお願いいたします。

ともあれ、子どもたちの頑張りとそれを支えようとする大人のおもいで、2学期もできうる限り子どもたちにたくさんの学びの場を提供できるよう取り組んでまいります。

9月の生活目標  
【規則正しく生活しよう】

生活指導部

夏休みの間、子供たちが規則正しい生活を送れるようご支援いただき、ありがとうございました。子供たちは、約束を守って、元気に過ごすことができたでしょうか。いよいよ2学期が始まります。9月の生活目標は「規則正しい生活をしよう」です。今月は、自分で意識して、早寝、早起きを心がけ、朝ご飯をしっかりと食べて登校できるよう、生活のリズムを整えてほしいと思います。また、季節は秋へと変わっていきますが、まだまだ気温の高い日が続くであろうと予想されます。子供たちには、こまめな水分補給や汗拭きタオルで汗を拭くこと、上着を羽織って体温調節することを指導して、気持ちよく過ごしていけるようにしていきます。2学期も毎日元気に登校できるように、引き続き子供たちの体調管理をよろしくお願いたします。

総合防災教室

生活指導主任

7月2日(土)に、総合防災教室を実施しました。防災に関する体験を通して、防災への知識や意識を高めることを目的に毎年行っています。当日は、赤坂消防署、港区赤坂地区総合支所、青山地区防災協議会、日本赤十字東京支部青山分団の方々にお越しいただき1年生は煙ハウス体験、2年生はマンホールトイレの設置体験、3年生は消火器体験、4年生は避難所設営体験、5年生は三角巾救急法、6年生は心肺蘇生法、AED体験等各学年様々な訓練や活動を行いました。

天候に恵まれ、暑い中での活動となりましたが、実際にやってみることで災害に対する見通しや自分にできることを知ることができました。また、本年度は保護者の方々にも参観いただき、地域の関連機関との関わりを通して、様々な人たちに見守られていることを確認するよい機会ともなりました。



### 【 2年 】

2年生にとって、今年度は初めて経験することが多くありました。運動会では自分たちで表現を考えたこと、学校の外に出て学習をする機会があったことです。校外学習では水族館に行きました。やっと行くことができたため子供たちはとても楽しみにしていました。当日はあいにくの雨でしたが、バスの中でのマナーを守り、安全に過ごすことができました。水族館に到着すると、グループごとに行動しました。館内での過ごし方も、他の方の迷惑にならないようにと考えてお互いに声を掛け合っている様子が印象的でした。とても充実した1日となりました。また、7月には、地域や保護者の方のご協力もいただき、町探検に出かけました。それぞれのお店で、「どのような質問をしようかな」「どんなものが人気なのかな」等、子供たちの疑問を出し合って聞く内容を決めました。また、実際にお店に到着してからのインタビューの練習を行いました。緊張感のある練習風景でした。保護者の方、地域に見守られながら、のびのびと元気に成長して欲しいと願っています。

### 【 3年 】

中学年となった108名の子どもたちは、4月よりたくさん新しい学習に取り組んできました。新しい友達、新しい先生方との出会いにときめき、理科や社会等、新しい教科に真剣に向き合い、書道や和太鼓、百人一首等、すばらしい日本の伝統文化にも親しむことができました。

5月の運動会は、学年集団が成長する大きな機会となりました。特に、表現運動「かがやけ!108人のヒーロー!!」では、一人一人が理想の輝くヒーローに変身し、青空と一つとなって学校生活のプラットフォームに大きなエネルギーを巻き起こせたと感じています。この経験を今につなげ、子ども達のさらなる高まりを願い、夏を過ごしてきました。そして、いよいよ実りの秋を迎えます。

さて、ヒーローとは、どんな存在なのでしょう。運動会前から問い、今でも問い続けています。秋の深まりと共に内面を磨くことにより、さらに豊かな答えを見つけていくことでしょう。一人一人が真のヒーローに成長し、みんなで喜び合える三月を迎えてほしいと願い、一步一步、進んでいきます。

### 【 郡上 】

8月22日～23日で、赤坂地区総合支所主催の田舎の体験教室が行われました。青南小学校からも4～6年生の希望者が参加し、岐阜県郡上市に行ってきました。

郡上市は長良川の清流がもたらすおいしい鮎やウォーターアクティビティ、江戸時代から400年続く郡上踊りが有名な地です。参加した子供たちも、鮎の塩焼きやラフティング、郡上踊り体験や郡上下駄づくりなど二日間で郡上市の魅力をつつりと味わってきました。

さらに民泊体験では、地域の方々の家で昼間は川遊びや農作業をし、夜は花火をしたりスイカを食べたり、それぞれの家庭で家族の一員のように過ごしました。

今回は3年ぶりの開催ということもあり、郡上市の方々に大変歓迎していただき、田舎で過ごす素敵な夏休みの思い出ができました。いつかまた、田舎のおじいちゃんおばあちゃんに会いに行けるといいですね。